

NEWS

どうする新型インフル



薬局の前にできたマスクを買い求める人々の長蛇の列、石油ショックのころ、トイレットペーパーを求めてスーパーに殺到した人の波を思い出させます。社会生活に多大な影響を及ぼしている新型インフルエンザ。私たちはどのように向き合えばよいのでしょうか？

打撃を受けています。現段階では「弱毒性」で症状は季節性インフルエンザと変わらないのに、過度に恐れすぎて实体经济に悪影響を及ぼすことは避けねばなりません。

◆なぜ日本で感染拡大？

新型インフルエンザは瞬く間に感染が世界に広がり、特に日本では感染者が激増し、5月22日午後1時現在、302人の感染が確認されています。一気に世界の4位にランクアップした形です。なぜ日本だけ感染が爆発的に増えたのでしょうか？この数値には実はカケがあります。ご存知のとおり日本は検疫や検査体制が世界でも最も厳格であると考えられます。つまり、新型インフルエンザの感染を発見する能力が高いのです。逆に外国では感染しているのに見逃されているケースが多いと考えられます。症状が通常の季節性インフルエンザとほぼ変わらないと言われていたので、感染しているのに気づかないのもうなづけます。

◆求められる対策の形

我が国では発生直後からメキシコ、米本土、カナダからの旅客便の一律の機内検疫を行い、患者周辺にいた旅客の荷物などでの停留措置という厳格な水際措置をとってきました。「厳しすぎる」との声もありましたが、初期の感染防止措置としては妥当なものと考えています。新型インフルエンザは今のところ「弱毒性」とされていますが、変異を起こし、いつ「強毒性」になるか予断を許さない状況にあります。そうなったときの準備を万全にする「演習」的な意味でも今回の水際措置は意味があったのではないのでしょうか。他方で、今の状況は、関西圏のみならず関東圏にも感染が広がっています。もはや感染症の指定病院と、「発熱外来」のみでの診療では限界があり、他方全国一律の休校措置なども現実的ではありません。政府は22日「急速な患者数の増加が見られる地域」と「患者の発生が少ない地域」の2つに分け、大阪府や兵庫県のように、急速な増加が見られる地域では、症状が軽い人は自宅での療養を認めるとしています。適切な措置と考えます。今後は糖尿病やぜんそくなどの慢性疾患を抱えている人への感染など重症化する場合への重点的対策が求められます。(了)

◆観光業界に打撃

新型インフルエンザは停滞している日本経済にも打撃を与えています。特に関西方面へのツアーや旅館の宿泊などにキャンセルが相次いでいます。業界団体の調べでは今月16日以降、関西の2府4県の旅館で延べ36万泊分の宿泊のキャンセルが出たと発表されています。昨年来の景気停滞で、ただでさえ経営が厳しい中、しかも修学旅行シーズンとも重なったことで奈良の重要産業である観光地の旅館なども大きな

まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年会費(個人献金)のみによって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所
0742 (40) 5531

「まぶち会」 についてのご案内

会の名称：「まぶち会」
 （政治資金管理団体に同じ）
 会費：年会費（一口）10,000円
 会期：一年間（政治献金）



◆後援会「まぶち会」とは

「まぶち会」には、二つの目的があります。一つは、私を応援して下さる皆様が一つになれる場所を提供すること。もう一つは、「一円たりとも企業献金を受けない」という信念の私の政治活動を「まぶち会」に入会していただき年会費（政治献金）で支えていただくことです。

私は「同じ目線」ということにこだわってきました。「まぶち会」は、後援会長を頂点とした従来の政治家のピラミッド型の後援会組織とは異なる、フラットなネットワーク型の新しい組織形態と活動を目指しています。ぜひ、皆様の入会をお待ちしております。

入会のお申込、詳しいお問い合わせは

まぶちすみお後援会事務所

TEL 0742 (40) 5531 までお願いいたします。

まぶち @国会 新型インフルエンザ



新型インフルエンザとは、鳥や豚など動物のインフルエンザウイルスが人に感染し、人から人へと感染できるように変異した未知のウイルスによって発症するインフルエンザです。誰も免疫を持っていないので、通常のインフルエンザに比べると、感染が拡大しやすく、世界的大流行（パンデミック）につながる恐れがあり、感染者の急増は交通、電力など社会機能すら麻痺させるリスクもあります。

過去に発生した新型インフルエンザには、世界で約4000

万人、日本で約39万人が死亡したとされるスペイン風邪（1918年）や、アジア風邪（57年）、香港風邪（68年）があります。

ウイルスが変異して強毒化した場合に対応するため万全の準備が必要なことはもちろんですが、他方、米国CDC（疾病予防管理センター）によれば現段階では今回の新型インフルエンザは、普通のインフルエンザと同様に多くの患者が軽症のまま回復しているとされています。過度に恐れることなく、冷静に対応することが求められます。

週間活動報告

- 16 土 岡田選対会議、両院議員総会（民主党代表選）、第101回ビュッケットミニング インターネット出演、新代表記者会見
- 17 日 帰奈、NTT労組退職者の会大運動会、第30回大和万葉会展、支持者懇談
- 18 月 学園前北口駅頭演説、上京
- 19 火 両院議員総会、富雄南中学校国会見学挨拶、朝日新聞「GLOBE」、政調役員会、日経、朝日新聞国分論説委員、週刊朝日
- 20 水 帰奈、仲川げん市長候補予定者と1区市議候補予定者顔合わせ、1区幹事会、記者会見
- 21 木 JR奈良駅頭演説、本妙寺早朝参拝、上京、文藝春秋「民主党生え抜き四天王」座談会
- 22 金 登美ヶ丘中学校国会見学挨拶

衆議院
議員

馬淵澄夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：
office@mabuti.net

国会
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
 衆議院 第1議員会館 437号室
 TEL 03(3508)7137 FAX 03(3506)3572

奈良
事務所

まぶちすみお後援会（まぶち会）
 〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F
 TEL 0742(40)5531 FAX 0742(40)5532